

【研究課題名】 AI を用いたピロリ感染背景胃粘膜の胃 X 線診断支援技術のための研究
Part II ―AI を用いた背景胃粘膜診断のクラス識別能の更なる向上を目指して―

【研究期間】 2021 年 7 月 16 日から 2022 年 2 月 28 日

【研究責任者】 とくしま未来健康づくり機構 診療部 医長 青木利佳

【研究の目的】 胃癌の原因菌であるヘリコバクターピロリ菌の感染が起こると、胃には慢性胃炎の変化が起きます。現在、ピロリ菌感染者に対しては除菌が推奨されていますが、除菌療法を行っても、胃癌発生リスクは低下するのみで、完全に抑制できるわけではありません。また、X 線画像の背景粘膜診断において、ピロリ菌の感染状態（現在・過去・未感染）を判定し、胃癌のリスクを分けることができることが知られていますが、読影医による診断のばらつきをなくすことが必要です。そのためには、何らかの診断補助が必要と考えられており、AI を用いた背景胃粘膜の診断支援技術を開発することを目的とします。

【研究の方法】 2013 年～2020 年の 8 年間に当センターで胃癌検診を受診された被検者のうち、約 1095 症例の検査情報(X 線画像、問診結果、Hp 検査データのそろっている症例)を対象とし、AI に学習させ AI による診断支援技術を作成します。情報はデータ解析等の為、匿名化し、研究統括を行う医療法人 明和病院(明和病院)、及び 富士フイルムヘルスケア株式会社へ提供します。また、得られた研究成果は、被験者：研究対象者が特定できないようにした上で、学術的な発表等(学会報告・論文執筆)で公表します。

【倫理面】 「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に従い、厳重な個人情報保護に留意します。本申請は、既存資料を用いたものであり、新たな侵襲は伴わず、また介入を行わない研究です。文書によるインフォームド・コンセントは受けませんが、情報公開のため、このホームページに掲載します。当機構の倫理審査委員会の承認を得ています。

この研究を拒否する場合、またお問い合わせがありましたら、以下の連絡先へご照会ください。

【問い合わせ先】

徳島市蔵本町 1 丁目 10 番地 3
とくしま未来健康づくり機構
TEL：088-633-2266